

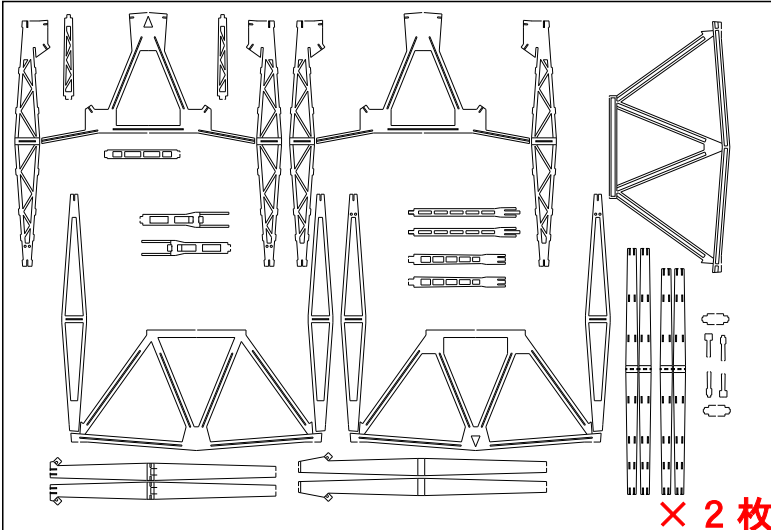


1/80 16.5mmゲージ向ペーパーキット

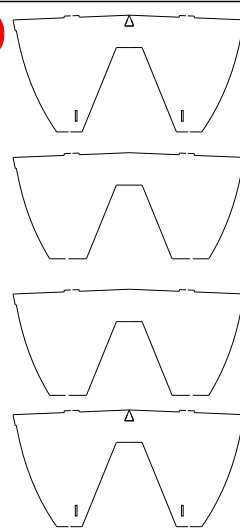
アドバンス機関区シリーズ

品番 2005 ガントリークレーンと新式複線形給炭槽

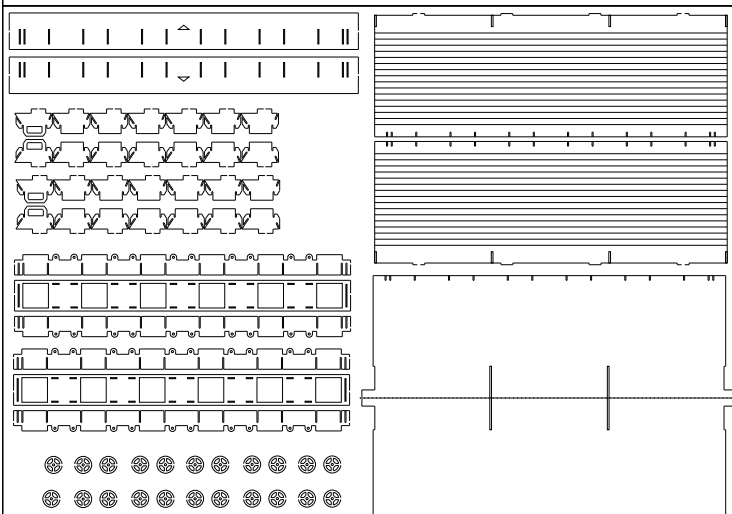
A



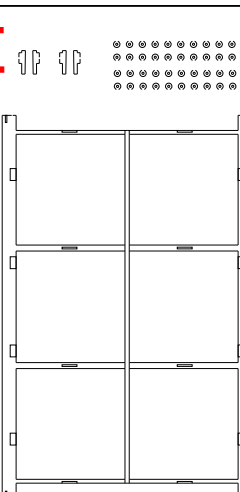
D



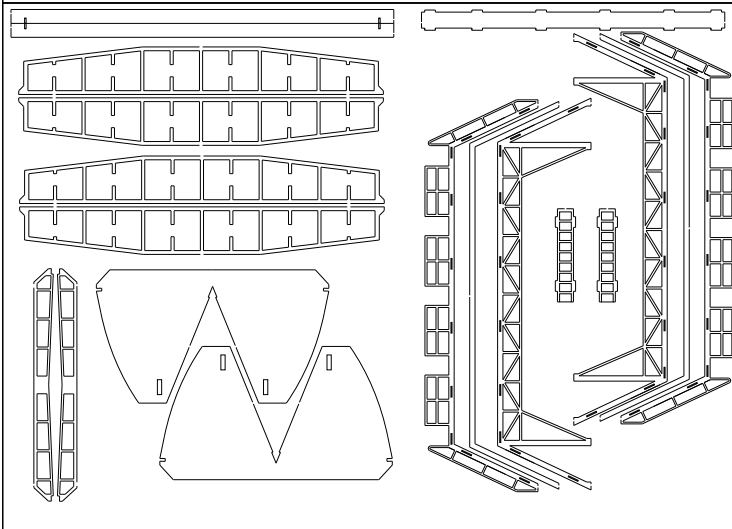
B



E



C



真鍮線

土台用
アクリル



アドバンスペーパーキットについて

- ・素材をレーザーカットしており、加工時に切断面に焦げや煤が付着します。
- ・焦げ・煤が原因で指が汚れたり、焦げ臭い場合もありますが予めご了承ください。

警告 小さく鋭利な部品があります。誤飲・嚥下に注意してください。15歳以上の模型組立経験者向けの商品です。3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。

商品の仕様は改良のため予告なく変更する場合がございます。

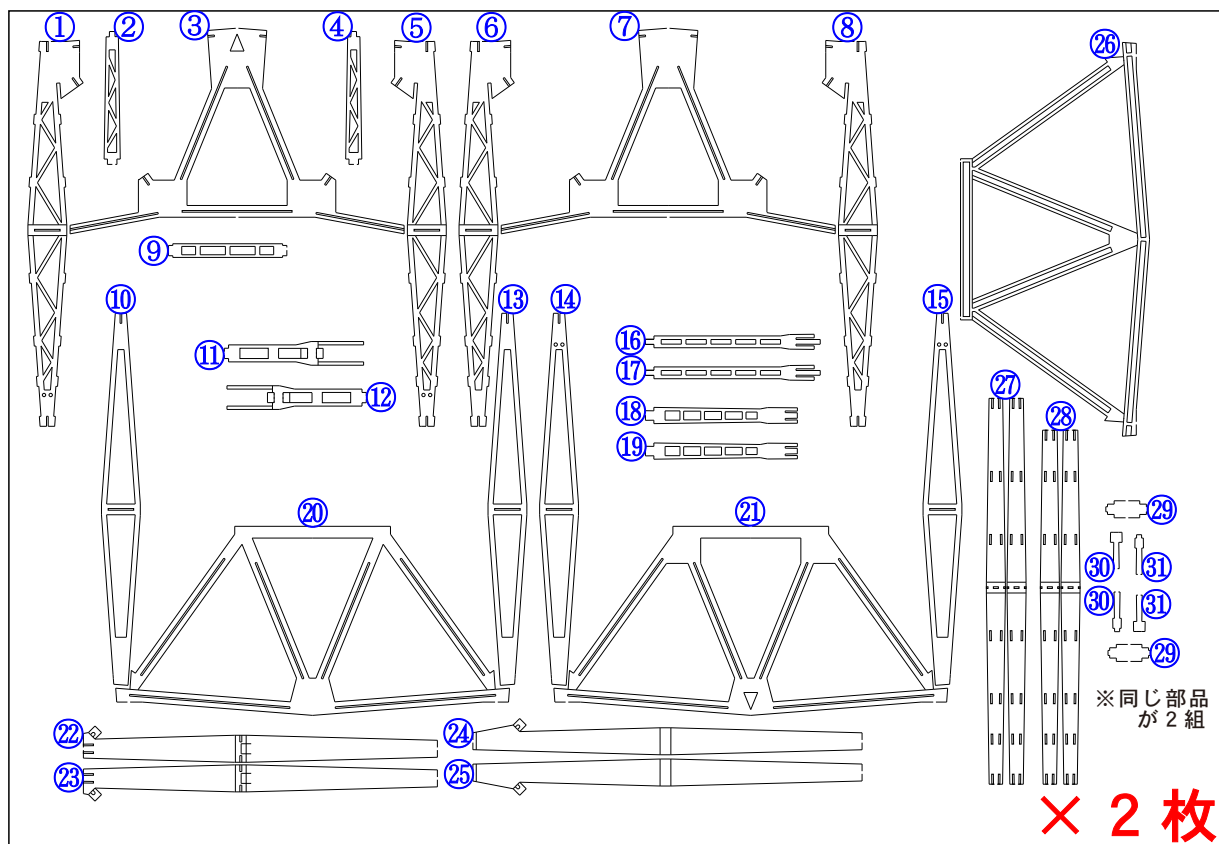
製造元：株式会社アドバンス <http://www.advanceltd.co.jp>

20170301

1

シート「A」から組み立てます。
2枚入っていますので、同じものを2個完成させます。

A



筋交いを
差し込む
突起

三角の切欠き

筋交いを
差し込む
突起

組立見本写真

←筋交いを差し込む丸穴→

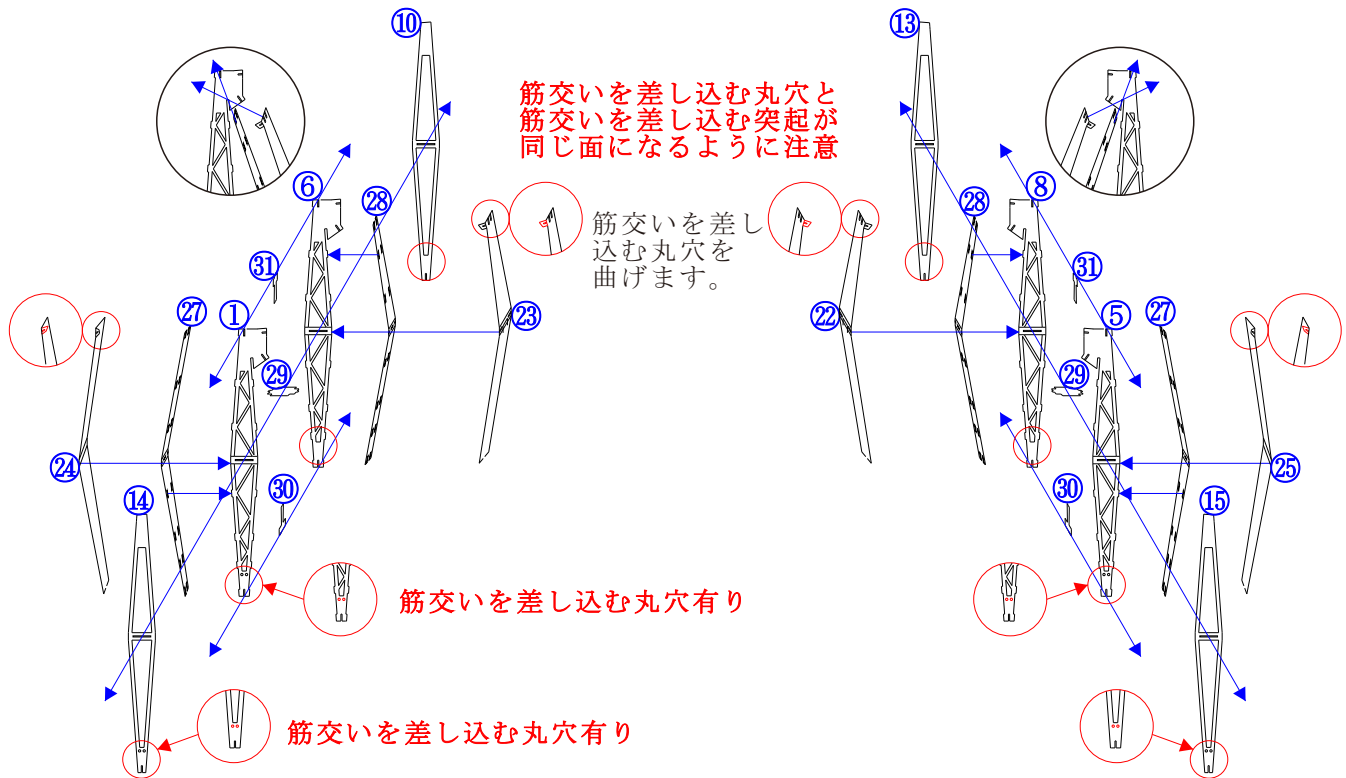
左の写真は組立見本です。

- ・ 三角の切欠き
- ・ 筋交いを差し込む突起
- ・ 筋交いを差し込む丸穴

以上が**同じ向きに揃う様**に
注意して組み立てます。

これを2つ制作します。

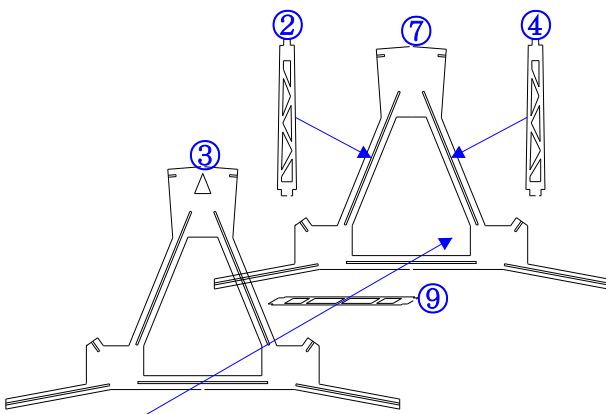
シート「A」組立手順



1. まず②⑧に①⑥を差し込み接着します。事前に②⑧は「く」に曲げておきます。次に②⑨を差し込み、②⑦を接着します。事前に②⑦は「く」に曲げておきます。
2. ⑥の上に⑩を、①の上に⑭を、接着します。筋交いを差し込む丸穴に注意します。下側に⑩を、上側に③①を差し込み接着します。
3. 筋交いを差し込む突起と丸穴が同じ面側にあることを確認し、②③④を接着します。④は下側に揃えます（若干上側が出ます）。事前に②③④は「く」に曲げておきます。筋交いを差し込む穴の部分を折り曲げておきます。

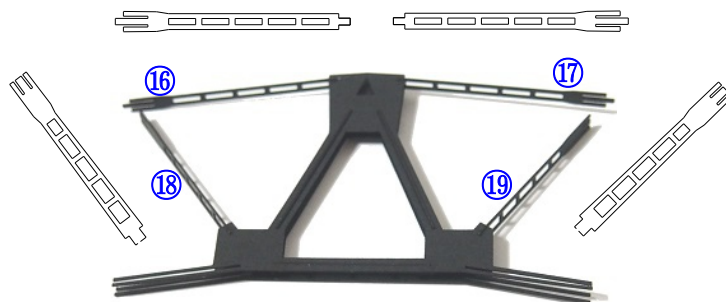
もう一方の片側を制作します。同じ作業をしますが「かがみ」になるように注意します。

4. まず②⑧に⑤⑧を差し込み接着します。事前に②⑧は「く」に曲げておきます。次に②⑨を差し込み、②⑦を接着します。事前に②⑦は「く」に曲げておきます。
5. ⑧の上に⑬を、⑤の上に⑮を、接着します。筋交いを差し込む丸穴に注意します。下側に⑩を、上側に③①を差し込み接着します。
6. 筋交いを差し込む突起と丸穴が同じ面側にあることを確認し、②⑤を接着します。⑤は下側に揃えます（若干上側が出ます）。事前に②⑤は「く」に曲げておきます。



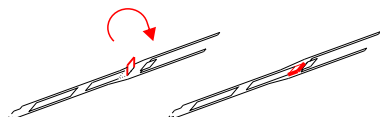
7. ⑦に②④⑨を差し込み接着します。②④は上側が細くなります。③を接着します。

8. ⑬⑭⑮⑯を差し込み接着します。
凸側を差し込みます。

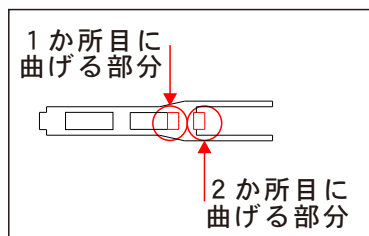


9. ⑪⑫をそれぞれ2か所折り曲げます。

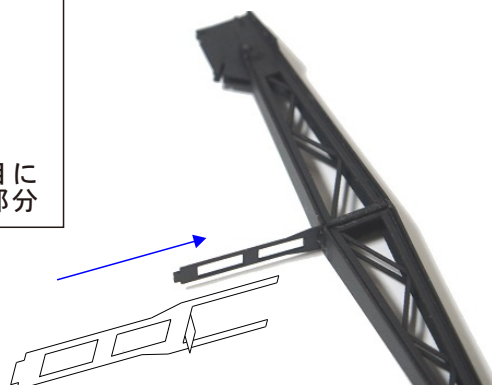
1か所目：図を参考に180度折り曲げて接着します。



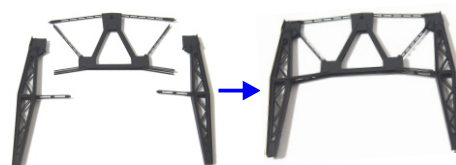
2か所目：90度折り曲げます。



折り曲げた⑪⑫をそれぞれ支柱に接着します。

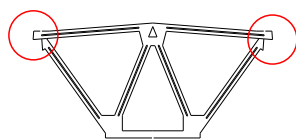


10. 合体させます。
今一度組立見本写真をご覧ください。
「筋交いを差し込む丸穴」と「三角の切欠き」が同面になるように合体させます。

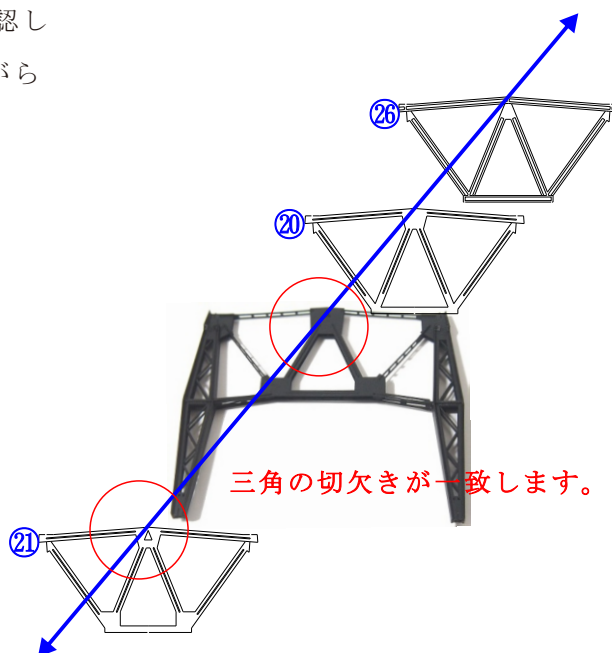


最初に⑪⑫を「8.」に差し込み接着します。
⑬⑭⑮⑯を差し込みます。

11. **三角の切欠きが一致**するのを確認し
⑳㉑を差し込み接着します。
赤丸部分をしっかりと接着しながら
差し込んでいきます。



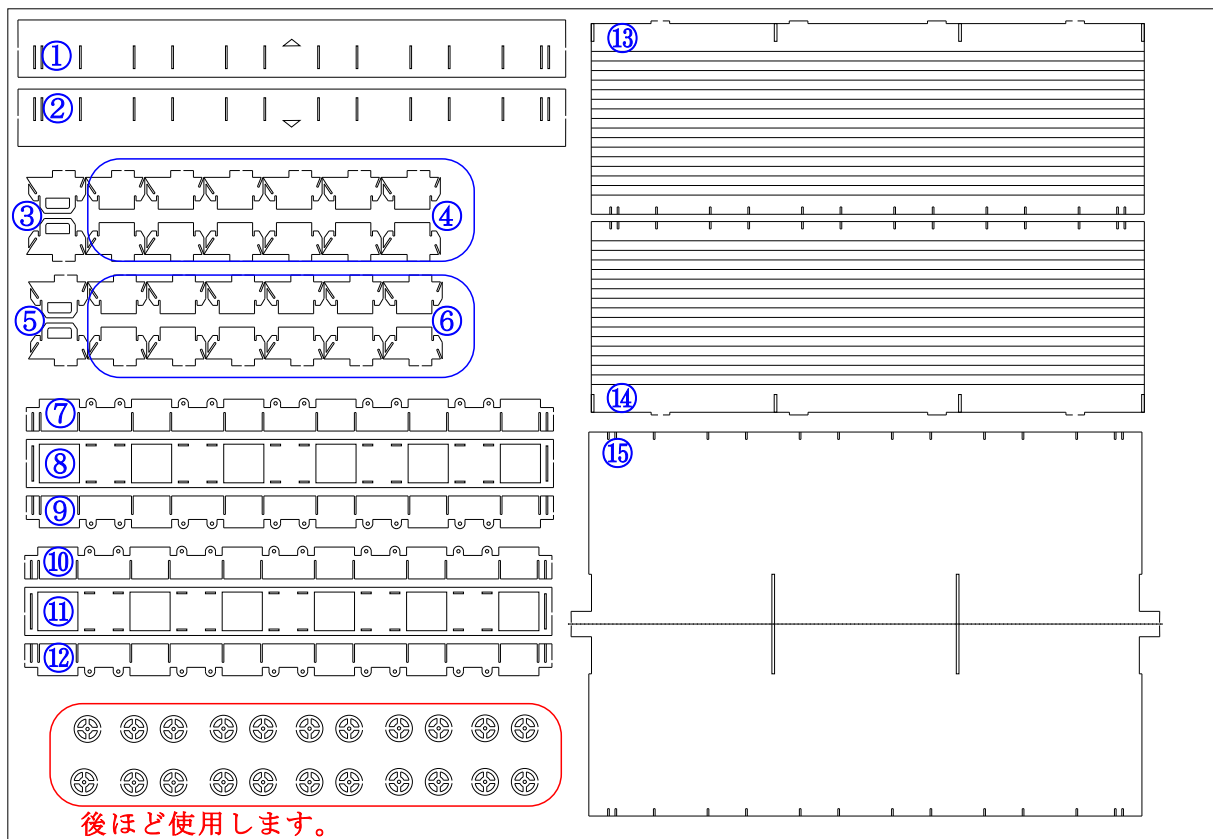
裏返します。
㉑、㉒の順番で接着します。



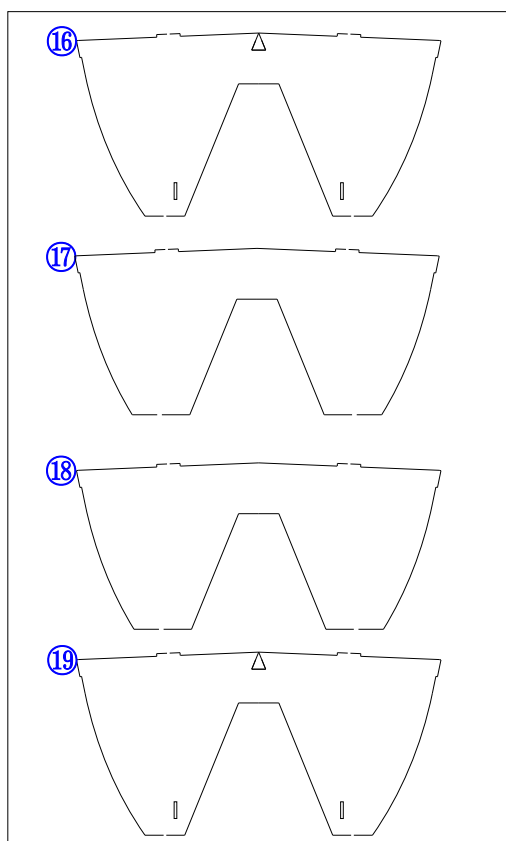
シート「A」は以上になります。
もう一枚のシート「A」も同様に組み立てます。

ここではシート「B/D/E」を組み立てます。
石炭の排出口を2組と、槽の骨組みを完成させます。
真ちゅう線を曲げて部品を作ります。

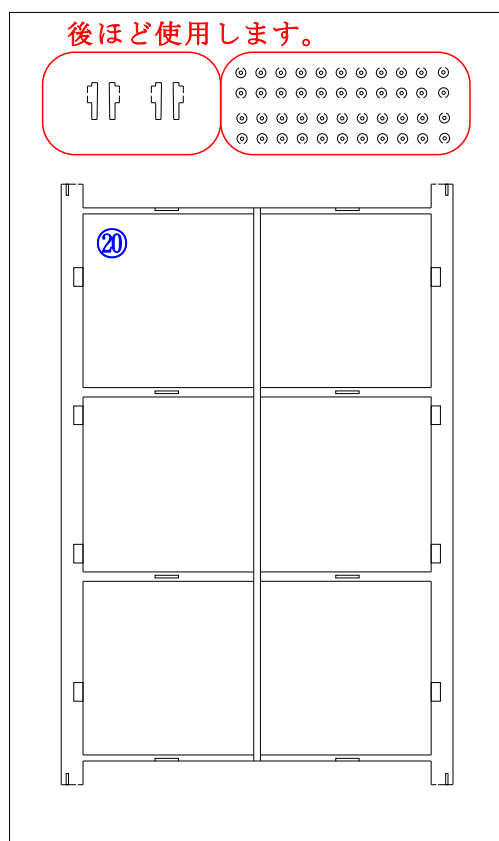
B

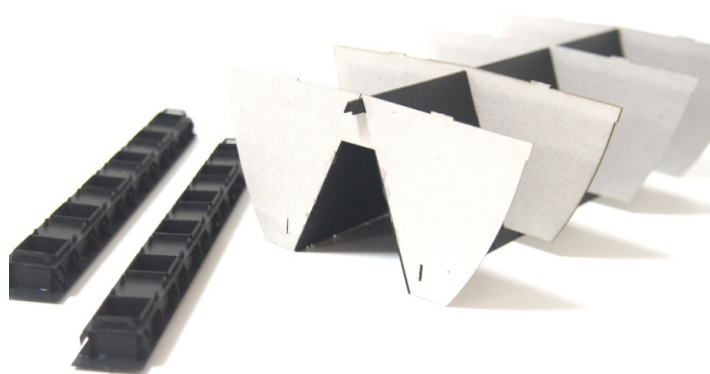


D

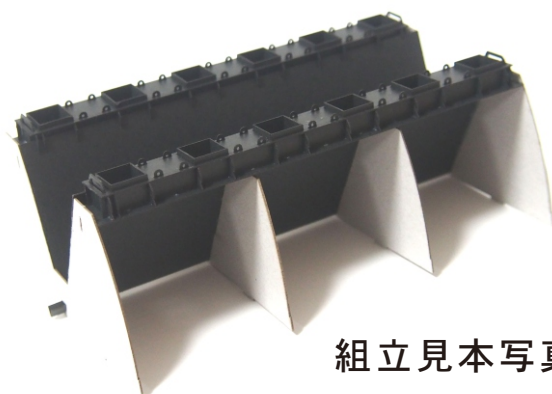


E





石炭排出口と槽本体を製作、その後に槽に石炭排出口を差込み合体させます。
(下の写真は見やすいように上下逆)

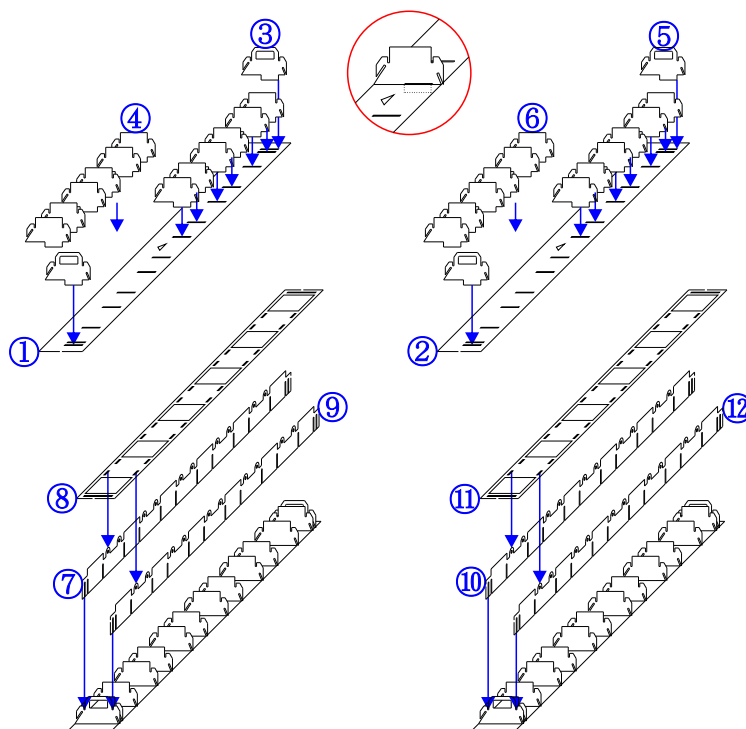


組立見本写真

1. 石炭排出口を2組制作します。

①に③④を差込み接着します。
③は①の両端部分に差込みます。

同様に、
②に⑤⑥を差込み接着します。
⑤は②の両端部分に差込みます。



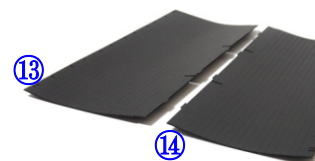
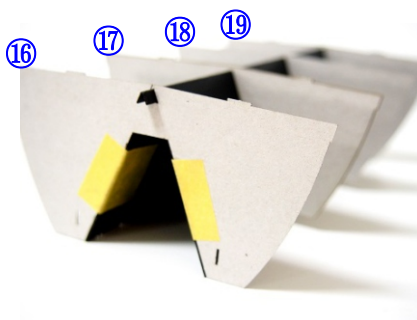
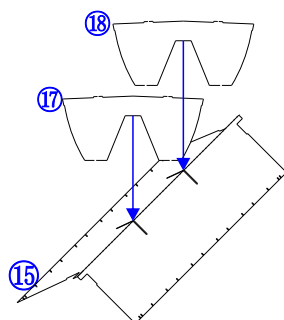
2. ⑦⑨を差込み接着します。
⑧を差込み接着します。

同様に、
⑩⑫を差込み接着します。
⑪を差込み接着します。

3. ⑮を折り曲げます。

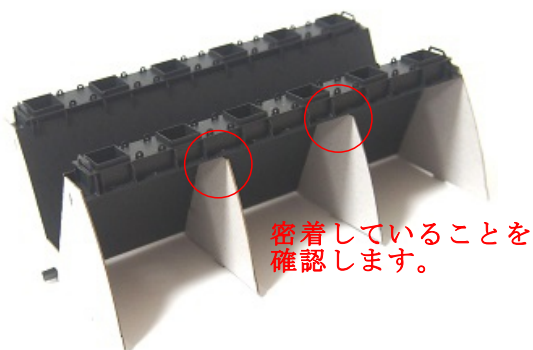
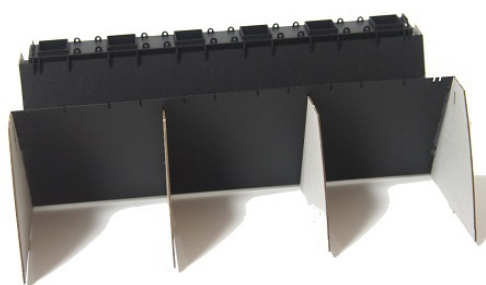
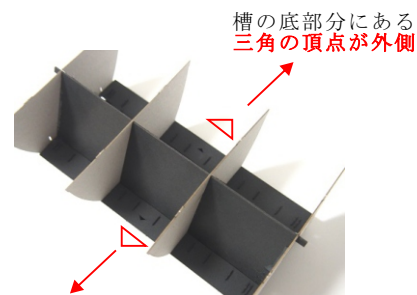
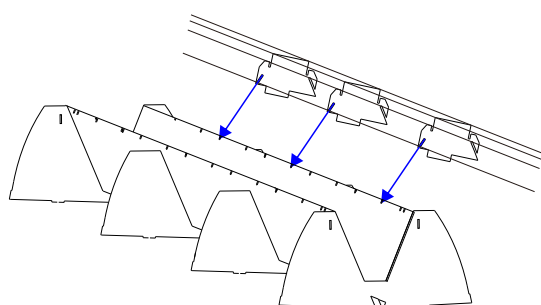
先に⑰⑱を差込み接着します。
続いて⑰⑱を接着しますが、ボンドが
乾くまでマスキングテープ等で保持します。

⑬⑭は軽く曲げておきます。



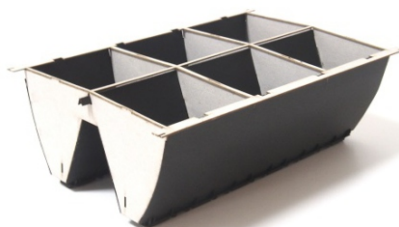
4. 「2」で制作した排出口2個を「3」に取り付けます。
上から見て**三角の頂点が外側**を向くようにします。

⑮の凹に③④の凹部分を差し込みます。



5. ⑬⑭を差し込み接着します。
ボンドが乾くまでマスキングテープ等で保持します。

6. ⑳を接着します。



7. 給炭用ハンドルの軸を制作します。

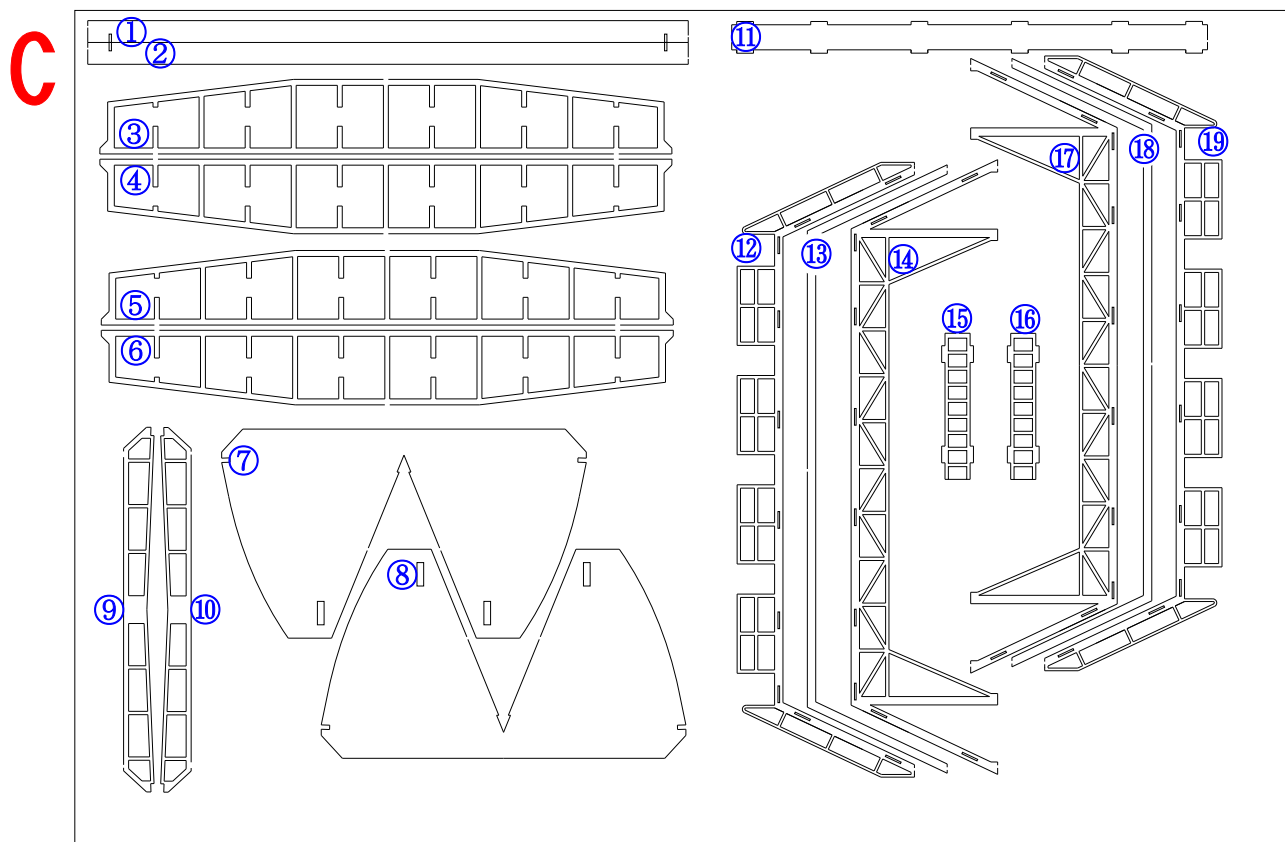
真ちゅう線の30mmのところに印をつけます。
付属の亚克力板を利用して「コ」の字型に曲げます。
付属の亚克力板をガイドにして切断します。

これを10個製作します。



付属の亚克力板（治具）を2種類使用します。
亚克力板の色は変更になる場合がございます。

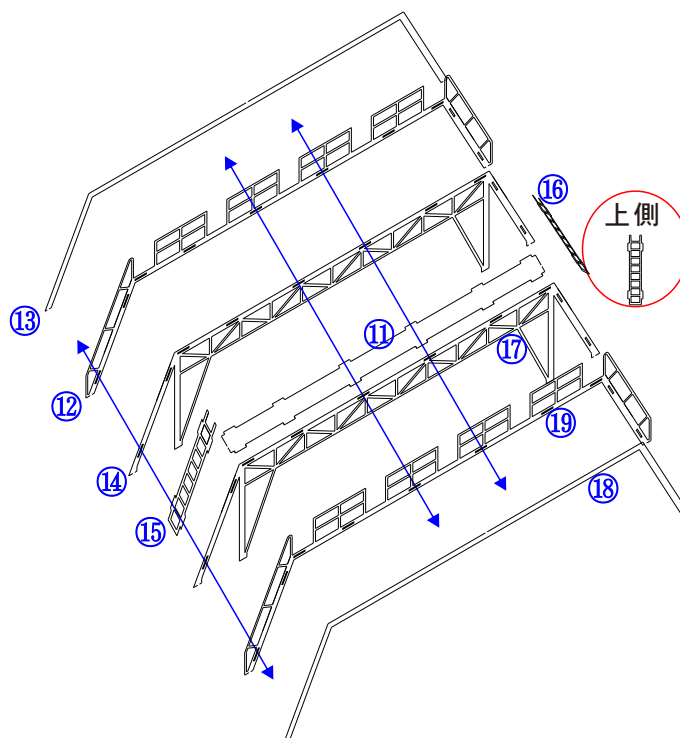
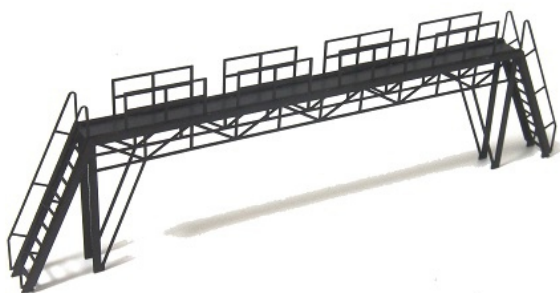
ここではシート「C/E」を組み立てます。
石炭槽と作業台を完成させます。



1. 作業台を組立てます。

⑭に⑮⑪⑯を差込み接着します。
次に⑰を差込み接着します。

⑫⑲、⑬⑱の順番で接着します。



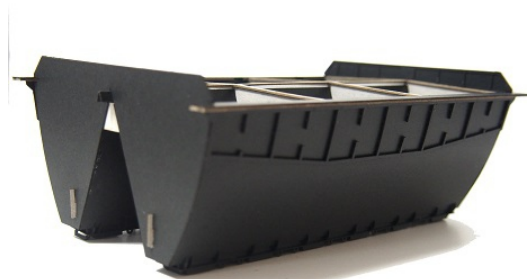
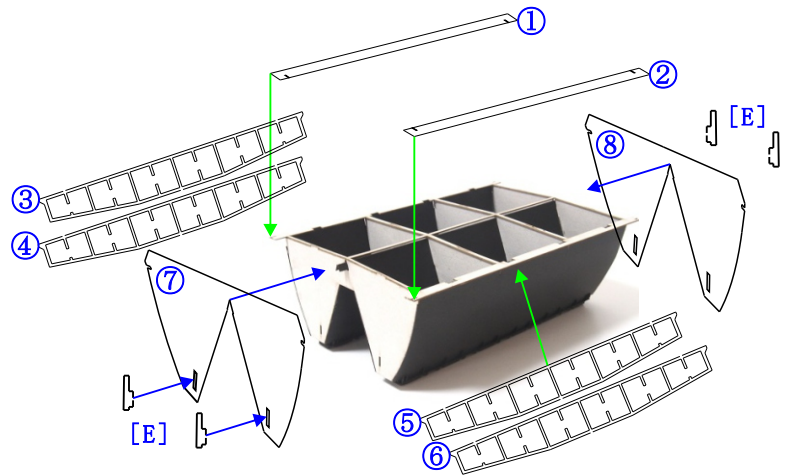
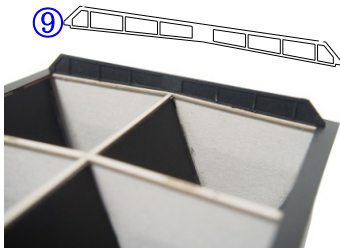
2. 続いて、槽の制作を続けます。

まず⑦⑧を接着します。
続いて①②を接着します。

側面に④⑤を接着します。
その後に重ねて③⑥を接着します。

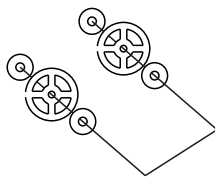
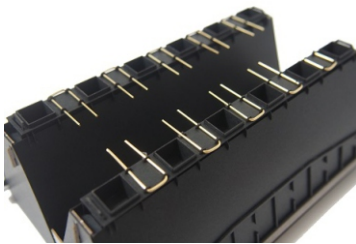
シート「E」の部品を左右2か所、
合計4か所に差し込み接着します。

槽の内側から⑨⑩を接着します。



3. 「コ」の字に曲げた真ちゅう線を差し込みます。

ハンドルをシート「E」の部品で挟み、瞬間接着剤を
染み込ませるように接着していきます。



4. 脚と槽を接着して
合体させます。



ここではアクリル部品を接着し土台を作ります。
土台と筋交いを差込み完成になります。

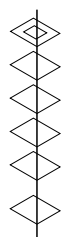
1. 使用する線路により高さを調整します。
給炭槽と作業台に差込み接着します。

※KAT0等の道床付線路で
ご使用の場合は、

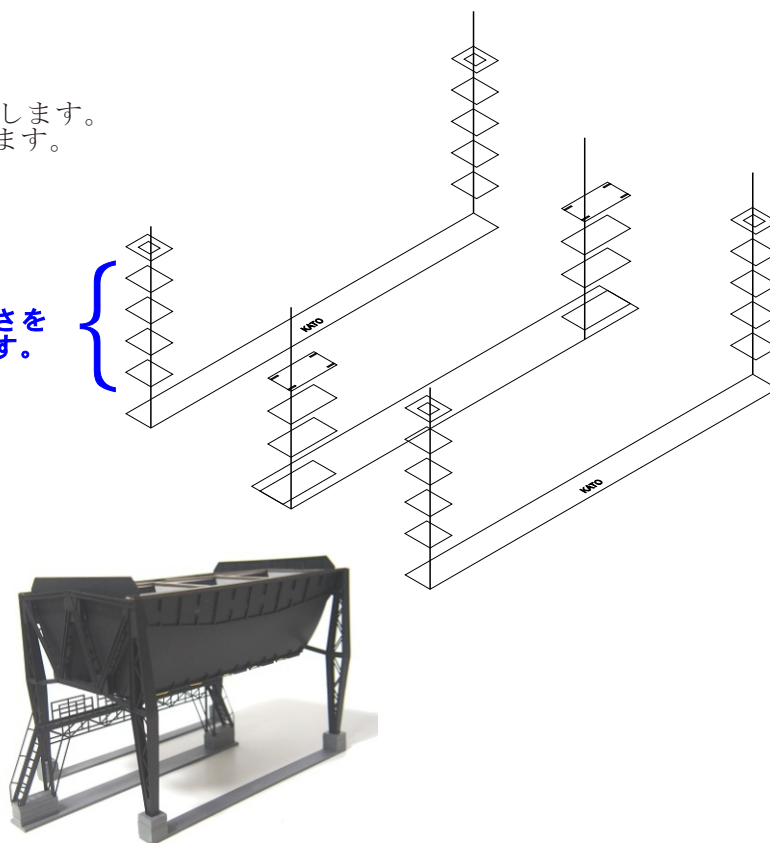
5枚＋1枚（図参照）

がおすすめです。

フレキ線路の場合は、
2枚程度にします。



枚数で高さを
調整します。



2. 筋交いを差込み瞬間接着剤を流し込みます。

真ちゅう線を197mmに切断します。8本必要です。



真ちゅう線を脚下側の穴に差込んでから
上の穴に差込み瞬間接着剤で固定します。



塗装をして完成です。

真ちゅう線はミッチャクロン等のプライマーで下地処理をしてから
タミヤアクリル塗料フラットブラック等で全体を塗装します。